

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	コミュニケーション		担当教員 (実務経験)	今北 雄太 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	コミュニケーションを通じて、自分自身の課題を抽出し、克服する。					
到達目標	社会でも柔軟に対応できるコミュニケーションスキルの向上及び志向となることを目指す。					
テキスト・ 参考図書等	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会)					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)			
	レポート	20%				
	小テスト	%				
	提出物	20%				
その他	60%					
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	コミュニケーションとは？	『自分を知ってもらおう！』 自己紹介			
	2		『自分を知ってもらおう！』 問答ゲーム			
	3		『自分を知ってもらおう！』 社会人として必要なコミュニケーションとは？			
	4		『自分を知ってもらおう！』 伝える、褒める、考えを引き出す			
	5	コミュニケーションスキルの向上	『会話を上達しよう！』 第一印象を良くするためには / 聞き上手になるためには			
	6		『会話を上達しよう！』 質問上手になるためには / 信頼関係を築くためには			
	7		『会話を上達しよう！』 盛り上がる話題を選ぶためには			
	8	対他者力を磨こう	コミュニケーションスキル			
	9		リーダーシップスキル			
	10		プレゼンテーションスキル			
	11		ファシリテーションスキル			
	12		その他の対他者スキル			
	13	他自己力を磨こう	コーチの学び、コーチのセルフマネジメント			
	14		コーチの学び、コーチのセルフマネジメント			
15	さまざまな思考法や伝達法					

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	カレッジイベント	担当教員 (実務経験)	今北 雄太 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しむ成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60% (受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
その他	60%				
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	4	イベント実施	スポーツ大会		
	5	振り返り	レポート作成、提出		
	6	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル		
	10	振り返り	レポート作成、提出		
	11	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定		
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備		
	14	イベント実施	学園祭		
15	振り返り	レポート作成、提出			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	特別研修		担当教員	土岐 政義		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	アスレティックトレーナー	
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	学校生活や社会人として必要な、コミュニケーションスキル向上を目指す。スポーツ指導者について理解を深める。					
到達目標	社会人としてのコミュニケーションを取ることが出来る。スポーツ指導者とはどのような職業か説明が出来る。					
テキスト・参考図書等	なし					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	受講姿勢、受講態度等を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の留意事項	特になし。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	特別研修の目的、内容について説明			
	2	挨拶練習	気を付け・礼の仕方、発声練習			
	3	感想文記入方法について	記入方法(5W1H、語尾の統一、構成、見栄え)			
	4	スポーツ指導者を目指すにあたり1	社会人として必要な能力について(コミュニケーション)			
	5	スポーツ指導者を目指すにあたり2	スポーツ指導者に必要な能力(解剖・生理学、コンディショニング、測定・評価、リハビリテーション、救急処置)			
	6	スポーツ指導者を目指すにあたり3	業界にはどのような人材が必要とされているか。			
	7	コミュニケーション能力向上講座1	コミュニケーションの手法			
	8	コミュニケーション能力向上講座2	コミュニケーションの実践(少数に対するもの)			
	9	コミュニケーション能力向上講座3	コミュニケーションの実践(多数に対するもの)			
	10	トレーニング・主働筋について1	トレーニング方法(下半身)、主働筋の暗記			
	11	トレーニング・主働筋について2	トレーニング方法(上半身)、主働筋の暗記			
	12	全体交流会1	スポーツリズムトレーニングの実践			
	13	全体交流会2	スポーツリズムトレーニングの実践			
	14	まとめ	履修主題4～13のまとめ			
15	感想文記入	履修主題4～13の感想文の記入(記入方法の再確認も実施)				

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	見学実習	担当教員 (実務経験)	土岐 政義 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	プロの現場を見学し、今後のトレーナー実習に活かす。				
到達目標	プロの現場を見学し、今後の目指すべき方向性を説明できる。				
テキスト・ 参考図書等	なし				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	受講姿勢、出席状況の評価基準とする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	特になし。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	AT見学実習について概要説明		
	2	プロサッカー見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	3	プロ野球見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	4	プロバスケットボール見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	5	プロフットサル見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	6	病院・治療院実習 1	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。		
	7	病院・治療院実習 2	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。		
	8	講義実習 1	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	9	講義実習 2	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	10	講義実習 3	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	11	講義実習 4	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	12	講義実習 5	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	13	講義実習 6	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	14	講義実習 7	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
15	講義実習 8	トレーナー・指導者が講義を実施する。			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	トレーナー総合実習		担当教員 (実務経験)	土岐 政義 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー	
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	トレーナー現場に帯同し、必要に応じて検査・測定と評価が出来ることを目的とする。				
到達目標	トレーナー現場で検査・測定と評価を実施し、選手に説明出来ることを目標とする。				
テキスト・ 参考図書等	公認ATテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	「トレーナー実習報告書」の提出をもって、活動状況を確認、評価を判定する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	特になし。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	トレーナー評価実習 1	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	2	トレーナー評価実習 2	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	3	トレーナー評価実習 3	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	4	トレーナー評価実習 4	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	5	トレーナー評価実習 5	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	6	トレーナー評価実習 6	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	7	トレーナー評価実習 7	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	8	トレーナー評価実習 8	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	9	トレーナー評価実習 9	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	10	トレーナー評価実習 10	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	11	トレーナー評価実習 11	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	12	トレーナー評価実習 12	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	13	トレーナー評価実習 13	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	14	トレーナー評価実習 14	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
15	トレーナー評価実習 15	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	トレーナー総合実習		担当教員	土岐 政義		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	アスレティックトレーナー
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	トレーナー現場に帯同し、必要に応じて検査・測定と評価が出来ることを目的とする。					
到達目標	トレーナー現場で検査・測定と評価を実施し、選手に説明出来ることを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	公認ATテキスト					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	「トレーナー実習報告書」の提出をもって、活動状況を確認、評価を判定する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の 留意事項	特になし。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	トレーナー評価実習 1	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	2	トレーナー評価実習 2	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	3	トレーナー評価実習 3	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	4	トレーナー評価実習 4	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	5	トレーナー評価実習 5	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	6	トレーナー評価実習 6	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	7	トレーナー評価実習 7	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	8	トレーナー評価実習 8	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	9	トレーナー評価実習 9	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	10	トレーナー評価実習 10	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	11	トレーナー評価実習 11	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	12	トレーナー評価実習 12	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	13	トレーナー評価実習 13	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	14	トレーナー評価実習 14	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			
	15	トレーナー評価実習 15	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			

2022年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	一年次研究課題 22t130 / 22s124	担当教員 (実務経験)	千保 大聖 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基礎概論	アスリハの概要・考え方・用語説明・機能解剖		
	2	基礎概論	アスリハの概要・考え方・用語説明・機能解剖		
	3	基礎概論	リスク管理について		
	4	運動療法の基礎知識と用語	筋力エクササイズについて		
	5	運動療法の基礎知識と用語	筋力エクササイズについて		
	6	運動療法の基礎知識と用語	可動域訓練について		
	7	運動療法の基礎知識と用語	神経-筋協調性エクササイズ		
	8	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ		
	9	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ		
	10	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント		
	11	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント		
	12	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント		
	13	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価		
	14	物理療法と装具・インソール	物理療法		
15	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具、歩行と足底挿板			

履修主題・履修内容	16	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	17	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	18	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	19	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	20	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	21	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	27	物理療法と装具・インソール	物理療法
	28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
	29	物理療法と装具・インソール	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策	

2022年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	一年次研究課題 22t131 / 22s125	担当教員 (実務経験)	千保 大聖 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	アスリートの健康管理について	健康管理体制、メディカルチェック		
	2	アスリートの内科的障害と対策	急性障害の種類とその対策		
	3	アスリートの内科的障害と対策	慢性障害の種類とその対策		
	4	アスリートの外傷・障害と対策	基礎知識、部位別に見る外傷・障害		
	5	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画	アスリハの概説と留意点		
	6	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画	アスリハの進め方と組み立て		
	7	アスリートの栄養摂取と食生活	5大栄養素の概要		
	8	コンディショニングの手法	ストレッチの種類と方法		
	9	コンディショニングの手法	テーピングの目的と効果、注意事項		
	10	アスリートの栄養摂取と食生活	栄養障害と対処法、サプリメント		
	11	特殊環境下での対応	水分補給、暑熱、寒冷対策		
	12	特殊環境下での対応	高地、時差、感染症対策		
	13	コンディショニングの手法	アイシングの効果、アイスバック作り		
	14	コンディショニングの手法	スポーツマッサージの目的と効果、手技の種類		
15	コンディショニングの手法	集中力のトレーニング			

履修主題・履修内容	16	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	17	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	18	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	19	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	20	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	21	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	27	物理療法と装具・インソール	物理療法
	28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
	29	物理療法と装具・インソール	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策	

2022年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	一年次研究課題 22t132 / 22s126	担当教員 (実務経験)	千保 大聖 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	%レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基礎:重心と床反力	バイオメカニクスを学ぶ上で必要な基礎力学について		
	2	基礎:関節モーメント	各種運動時、人体の中でどのようなことが起きているのか		
	3	基礎:跳躍動作	跳躍動作に必要な力学について		
	4	基礎:歩行	最も基本と言える動作、歩行について		
	5	基礎:歩行	良い歩行とは何なのか		
	6	応用:走動作	走る動作について		
	7	応用:跳動作	跳ぶ動作について		
	8	下肢のスポーツ外傷・障害(1)	大腿ハムストリングス肉ばなれ / HQ比		
	9	下肢のスポーツ外傷・障害(2)	大腿部打撲 / 骨化性筋炎 / 股関節脱臼(脱臼骨折)		
	10	下肢のスポーツ外傷・障害(3)	膝PCL損傷		
	11	下肢のスポーツ外傷・障害(4)	膝MCL損傷		
	12	下肢のスポーツ外傷・障害(5)	膝半月板損傷		
	13	上肢のスポーツ外傷・障害(1)	肩関節前方脱臼、コンタクトでの外傷・障害(顔面・目・鼻)		
	14	上肢のスポーツ外傷・障害(2)	肩鎖関節脱臼、肘MCL損傷、TFCC損傷		
	15	体幹のスポーツ外傷・障害	腰椎椎間板ヘルニア、整形外科的メディカルチェック / メディカルチェックの概要		

履修主題・履修内容	16	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	17	運動療法の基礎知識と用語	全身持久力とアスリハ
	18	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	19	運動療法の基礎知識と用語	身体組成とアスリハ
	20	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	21	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
	23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
	25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
	27	物理療法と装具・インソール	物理療法
	28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
	29	物理療法と装具・インソール	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策	

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	ボランティア活動	担当教員 (実務経験)	ボランティア先の担当者およびクラス担任 有 無		
対象年次・学期	各学科就職学年(3年、2年)・集中	必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	ボランティア活動を通じて、直接的に実践力を身につける。				
到達目標	ボランティア活動先における実務遂行を通じてボランティア精神や各種能力・技術力の向上を図る。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	ボランティア活動先の担当者に、実務遂行状況について、相対的な判断にて評価してもらう。(ボランティア活動先の担当者と当該クラス担任間において情報交換し評価する場合もある。) 「ボランティア活動報告書」の提出をもって、活動状況を把握する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	学外での活動であり、ボランティア活動先において学習するため、各自の目標設定やスケジュール管理が大変重要となります。活動期間が有意義なものとなるように、コミュニケーションをしっかりと取りながら、目標達成を目指してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	2	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	3	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	4	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	5	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	6	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	7	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	8	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	9	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	10	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	11	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	12	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	13	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	14	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		
	15	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する		